

平成23年度富里市地域公共交通会議（第2回）会議録

日 時	平成23年8月3日（水） 午前10時～	場 所	富里市役所本庁舎 3階会議室
出席委員	石橋規委員、飯高貞夫委員、池田和弘委員、長谷川英利委員、内山雅広委員 植草とよ委員、佐々木努委員、丹さく子委員、米本健二委員、鵜沢尚夫委員 篠崎秀樹委員、田中希生委員、中野善敦委員		
欠席委員	なし		
事務局	林田総務部長、 総務部企画課：中川課長、相川副主幹、栗原主査、池田主査補		
内 容	<p>1. 開会</p> <p>2. 会長あいさつ</p> <p>3. 議題</p> <p>（1）市民アンケート調査等について【事務局説明】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 内容説明 ○ 修正事項の報告 ○ アンケート調査についての説明 <p>「質疑・意見」</p> <p>【委員】</p> <p>資料2問1（5）の成田駅が「JR」なのか「京成」なのかが区分できない。</p> <p>（ハ）「具体の」を「具体的な」に訂正する。</p> <p>属性・交通弱者（移動困難者）を考えた時、アンケートの中で出てこないのではないか？どの程度、移動困難者がいるのか把握するのは重要。</p> <p>【事務局】</p> <p>表記については再度検討したい。</p> <p>交通弱者の把握については、属性の中で検討したい。</p> <p>【委員】</p> <p>資料2の問2に公民館での活動を入れた方が良い。</p> <p>【事務局】</p> <p>レクリエーション又はその他の中で考えている。</p> <p>【委員】</p> <p>入れた方がはっきりとする。</p> <p>【事務局】</p> <p>検討したい。</p>		

【委員】

さとバス・路線バスについて、路線バスには利用、乗車時間帯を入れて欲しい。さとバスの鉄道駅に連絡（問9）は削除願いたい。

【事務局】

利用しない時間帯は項目に入れる。また鉄道駅の乗入れについては、アンケートとしては項目に入れたい。

【委員】

アンケートで聞くと、「なぜ、できないのか」と問われる。

【事務局】

乗入れの可能性については、アンケート後の会議の中で議論したい。

【委員】

乗入れ問題として、良いとは言えない。乗入れとなれば路線バスとさとバスで運賃や本数に差がでてしまう。

【事務局】

課題があるのは承知しているが、必要な意見として認識しているので、本会議で検討したい。

【委員】

乗入れについては意見が多いので、アンケートはやった方が良い。交通弱者の扱いについては、別の調査で行った方が良い。

【会長】

資料5の問9について、意見を伺いたい。

【委員】

車をやめてから、1週間に4~5回はさとバスを利用している。成田に行く時、さとバスで行けると良い。また、土日に利用できたら良い。

【会長】

その他の内容について、意見を伺いたい。

【委員】

乗入れの問題については、アンケートだから聞いても良いと言うが、バスを駅に乗入れて欲しいというのは当たり前だからこそ、項目に入れなくても良いと思うので反対する。

【委員】

問11の改善方策（自由記入）で記載すれば良い。

【委員】

駅に行って欲しいという要望はある。事業者としての問題もあるが、乗っている人の意見は聞いた方が良い。

【委員】

問9は、運賃が同じなら乗らないのかと聞いているのか、なぜ駅へ行かないのかを聞いているのか、本来の根拠を説明された方が良い。

【事務局】

競合路線に運賃の格差がある状態での乗入れは考えられない。
運賃が同じなら使うのかということ、アンケートで確認したいと考えている。

【委員】

委員会としては、今後、バスを鉄道駅に乗入れする方向で議論するのか？

【事務局】

認可としては、バス事業者の協力がなければ成り立たないと認識している。

今回の調査は、幅広い可能性を得る事が目的である。

【委員】

要望を聞くとどんどん出てくるので、役割をはっきりとしてから進めて頂きたい。自由意見で聞けば良い。

【委員】

アンケートは、誘導的な聞き方は良くない。想定として聞いていると、何を着地点としているのかがよく分からない。

【委員】

税金を使ってバス民間事業者を圧迫していくのはいかがなものか。

【会長】

それ以外の事柄で、資料1～6まで意見を伺いたい。

【委員】

資料2の最後にある自由意見には、「公共交通」とすると、運転手への要望等が出る可能性があるので、「公共交通網（体系）」とした方が良い。

【委員】

好きな事を書いて頂ければ良い。

【事務局】

表現を変える必要があるか検討したい。

【委員】

アンケートの実施は利用意向、利用実態、新しいものを考えるのかなど最終的に何をどうするのが分からない。

バスを利用しない人はバス停がどこにあるのかも分からない。さとバスの収益状況はどうお伝えするのかなど、抽象的なものと具体的な表現を統一した方が良い。デマンドを簡単に聞いても、実際は導入した自治体も悩んでいる。安易に聞くのは良くない。さとバスが無くても良いのか、あるとすれば住民がどの様に参加できるのかという聞き方が良い。

【事務局】

アンケートの主旨、目的、着地点、今年度どのようなパターンがあるのか、項目が多いのは事実であり、実態、意向、今後を全部聞いている。

路線バスの運行状況や収益については検討する。

デマンド交通についても設問内容を検討したい。

【事務局】

地域特性とニーズは違う。ニーズは時代と共に変わってくる。

【事務局】

地域特性と言うと語弊があるが、属性とニーズとクロスして分析する事を考えている。

【委員】

さとバスは10年前から運行しているが、その時は弱者救済だった。

10年を経て、市長の公約の中では、駅がない富里市における公共交通の向上を考えている。

その辺りが委員に伝わって来ない。なくても良いというのはもってのほかで、弱者救済の施策は福祉でも行っているので、さとバスについても今後の課題として検討して頂きたい。

【委員】

読売新聞に高齢者の事故が多いので、免許の自主返納を行っているがあった。

成田市では免許を返納された方はコミバス・その他の乗車運賃が半額になるという優遇があり、その他県下11市、20前後の公共機関でも行われている。成田市で実施されたため、今後は富里市でも導入を検討いただきたい。

【事務局】

駅への乗入れ問題については聞き取り調査で行いたい。

問9は設けない事とする。

【委員】

館山、南房総市、日東交通とJRで運賃割引を行っている。

自治体の支援があれば有り難い。

【会長】

アンケートについては本日の議論で事務局より回答されたように行いたい。

4. 閉会

以上